



こんにちは
青木です

こんにちは



Town of smile

福井市平成21年度予算

◇一般会計

九五七億二千二百万円
昨年比 2.2%増

◇特別会計

七〇四億二千八百万円
昨年比 3.6%減

◇企業会計

三二五億八千六百万円
昨年比 8.9%減

総額

一九八七億三千六百万円
昨年比 1.8%減

市債

百五十億五五六十万円
昨年比 四〇億一八二〇万円増

議会質疑

三月議会において、以下の質問をしました。

質 天皇陛下御在位20年の今年、第60回の全国植樹祭を一乗谷朝倉氏

遺跡を式典会場として開催される。福井らしさをどう具現化するのか？

答 6月7日に向けて、自然との共生を目指した「森を大切に」のテーマの基に取組みを進めてきた朝倉氏遺跡の会場も含

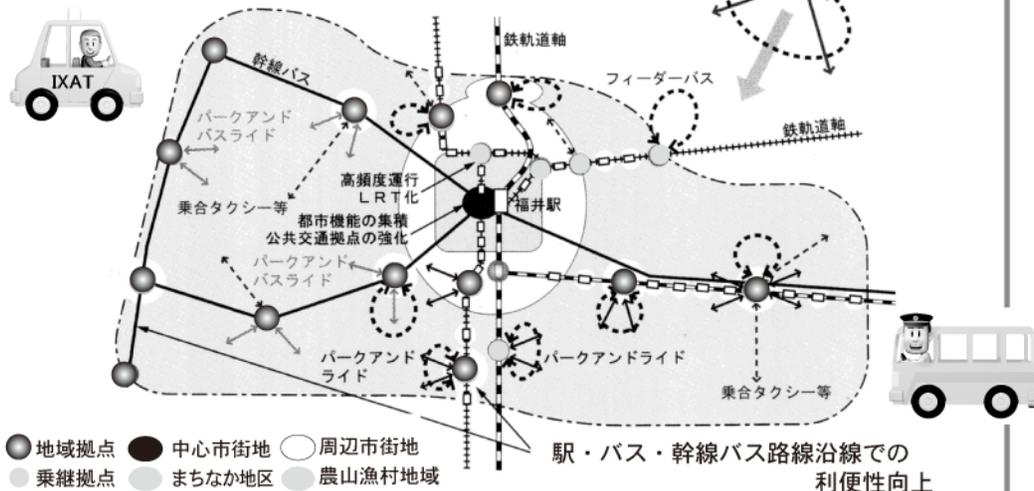
め、福井の歴史や文化、「食」を約一万人の参加者にふれていただくと共に、絆を深め「福井」を全国に発信して知名度を高め、幅広い観光誘客に繋げてゆきたい。(市長)

質 「ふくい交通元年」と本年を位置づけ「福井市交通ネットワーク」の実現に力を入れるとしている。クルマがないと安心して生活出来ない不便な街と本市全体を評しているが、開発が進む電気自動車等をどう戦略づくりの中で論議されたか？又福井駅西口駅前広場への電車の延伸ルートが商店街の方々の合意形成が計られていない中で決められた様だが、現在の対応は？

答 クルマを利用出来ない人の生活不安、徒歩や自転車での日常サービスを受ける事が困難な状況等が進む中、誰もが安全で安心して快適に生活出来る街づ

公共交通の目標像

- ① 6方向の公共交通幹線軸の強化
- ② 軸と地域を結ぶ拠点の形成
- ③ 地域特性にふさわしい交通サービスの確保



くりは、公共交通の利便性の高いコンパクトな日常生活圏の構築と、中心市街地の再生が不可欠である。クルマを利用する既存ストックを活用した、福井型の公共交通ネットワークをつくってゆきたい。(総務部長)

質 明治22年市制施行以来本年4月で、本市は百二十周年を向える。市民の心にのこる一年とせねばならないと考えるが、どう取り組むのか？

答 百二十年の歴史を市民が理解していただける様に、市政広報等を通して理解を深める企画を進めたい。

第16号
発行 青木みきお後援会
福井市市ノ瀬町21-18
☎0776(85)1466
発行責任者 青心会
会長 吉田 則夫
印刷 (有)いとう印刷

い。又地元商店街の方々と話し合いも行っており、今後も充分協議しながら取り組むたい。(特命幹兼都市戦略部長)

ブームアツプ。A.O.K.I 「農・川西地区の農業の現状と課題」

うちは、家族6人が同居。父は会社勤めのため、祖父の農業を手伝い、母や姉と自分(長男)も稲作になると、田植えや稲刈にかり出される。祖父母は一家総出の農業が当り前のようになっているらしい。ところが、ある日の夜、父がポツリとつぶやいた言葉が頭から離れない。「なあ母さん！10年経ったらうちの田畑をどうしようか？だれも農地を買ってくれないし、俺たちだつて面倒見続けれんわ〜」

現状 農・川西地区といえは園芸センターに代表されるように、昔から野菜、果物や稲作の農業を守り続けている世帯が多い。ただし、その農家のほとんどは兼業農家ではないかと考えられ、その先行きは決して明るくない。どの農家も5年10年先がどうなるか展望がないまま、現状を受け入れざるを得ない悩みを抱えているのではないかと思われる。

課題 兼業農家が抱える課題は深刻である。まずは田畑を耕作する人手不足。10年後に父親が会社勤めをリタイヤし

てまで、農業に携わることが可能かどうか、疑問であるし、長男もあてにならないとなると、お手上げとなる。次に、農業に費やす設備や費用がその収入に見合わず、多くの農業は「専業」になり切れない。もちろん農家が独自の販路を開拓したり、コスト削減の努力をすることは、現状のままの兼業農家が軒はずつ設備を維持更新しながら、農業を続けていくのは至難である。先世代々からの土地だけは残っていても、人、モノ、金不足に見舞われた農業では、生き残れない。(広報部)

粟地区のAさん一家



3月議会報告

予算特別委員会

財政について

質 国債、県債、市債の残高が現実的に年々増えている現状を「次代の世に残すべきではない」との指摘の意見をよく聞く。本市の見通しはどうか？

答 「福井市の行政改革の新たな指針」と「福井市財政運営計画」に基づき従来以上の事業の棚卸しを徹底して取り組んでいる。急速な景気後退による生活不安、経営不安に対し、国の経済対策を最大限に活用し、真に必要なとされる施策には合併特例債や過疎債など有利な市債を有効に活用しての予算となった。ご理解をお願いしたい。(副市長)

青年の現状と社会参加について

質 青年の生活は働く場の環境も含め、全く以前とは変わっていると思う。地域参加の現状や参加していない青年の状況をどう把握しているのか、青年に夢をもって活動出来る環境づくりが大切であると考えがどうか。

答 青年の地域参加活動は近年活発な状況で推移して来ているが各地域

総額54億5千万円の緊急経済対策

雇用対策	
■ 雇用緊急交付金対応事業	7.6 千万円
■ 緊急雇用創出事業対応事業	11.5 千万円
中小企業支援対策	
■ 事業者の利子負担軽減等対策	4.1 千万円
■ 省エネ等の設備導入事業者支援	2.8 千万円
■ 行政チャンネルのデジタル化	1.0 千万円
生活者支援	
■ 道路、河川等整備事業	37.0 千万円
■ 定額給付金の給付	430.0 千万円
子育て支援	
■ 妊婦・出産・子育て支援	25.6 千万円
省エネルギー対策	
■ 太陽光発電設備設置の助成	0.5 千万円

西口再開発事業について

質 ホテル、コンベンションの撤退により、本市が大きく関わる事となった西口再開発事業は、本市以上に県の果たさねばならない役割は大きいと思う。県が受け持つとされる公共公益施設に、

全域的な取り組みとはなっていない。青年の要求や、意見をよく聞いて、公民館や関係団体との連携も計りながら、青年全体の状況を把握して参りたい。(教育部長)

施設構成イメージ



答 世界的な恐竜や、継体大王に関わるコンセプトを訴えてはどうか？

答 準備組合、経済界と連携を深め、取り組んでまいりたい。県の理解協力も得るべく協議を進めてゆく上で、提案して参りたい。(特命幹兼都市戦略部長)

全国

植樹祭と育樹祭



今年6月に、「第60回全国植樹祭」が福井県にて開催されます。この全国植樹祭は国土緑化運動の中核的な行事として昭和37年春に実施されています。

和25年に山梨県で開催されてから、毎年春に行われていきます。過去福井県では、丸岡町女形谷(現坂井市)で第13回大会が昭和37年春に実施されています。

が行われています。こちらは皇太子が出席するものとされ、現在は徳仁親王が出席しています。これも過去には第4回育樹祭が昭和55年に、坂井郡丸岡町楽間(現坂井市)のグリーンセンターにて開催されました。

過去に、「お手植え・お手まき」お手まき「された植樹は今どうなっているのだろうか?! 大事に育てられていることを、期待したいと思います。(広報部)

「気になる地球」その④

4月から、レジ袋が有料化になり、皆さんもそろそろマイバッグを用意されている人もいないではないでしょうか。これもエコ活動ですね。

前回は引き続きエコについての記事を考えていましたが、最近ちよつと気になることがあったので、記事にしてみました。

先日町内の清掃奉仕活動に参加しました。福井市教育委員会の指導で、



各地域の自治会が中心となつて行っている年間行事の「春の福井市を美しくする運動」です。福井市の年間事業の一つなので、皆様の町内でも、同様の活動が3月に行われていると思います。私どもの町内はテクノポーター福井の企業団地の隣に位置して、グリーンベルトの中に公園もあるが、町内の戸数の割には清掃範囲が広がっています。休日にもかかわらず、約25名ほどの町民が朝八時半より三班に別れて、町内のゴミの清掃に参加しました。住宅地周辺にはゴミ等はそれほどありませんでしたが、国道305号線沿いや、公園内のいたるところに、空き缶、空き瓶、お菓子の空き袋等、たくさん捨てられています。約一時間の清掃活動で軽トラック

編集後記

◇編集会議で出て来た話題は、やはり各人の職場の業績悪化の事ばかりです。皆様の会社ではどうですか。

◇そんな話で盛りあがるばかりで、新聞編集はなかなか進まなかつたですが、なんとか、締切りに間に合わせる事ができました。

◇広報員の職場や家庭は危機的状況ですが、硬軟織り混ぜて、楽しい紙面で頑張りたいと思います。

広報担当 月葉 総彦
南東 雅範
福田 一博